

南陽図書館つうしん 2015秋号



〒455-0857 名古屋市港区秋葉一丁目130-79
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館し、直後の平日を休館）
第3金曜日（祝日の場合は開館）年末年始、
特別整理期間（年5日 今年度は終了）
ホームページ：https://www.library.city.nagoya.jp

図書館で「エコ」！！

みなさん、「AELネット」を知っていますか？「あえるねっと」と読み、正式名称は「愛知県環境学習施設連絡協議会」です。名前は難しいですが、やさしく、楽しく、環境について学べるいろいろな施設のネットワークです。南陽図書館はじめ、名古屋市図書館21館も参加しています。

図書館と「ECO」... 南陽図書館には、1年間で約5千冊の本が入ってきます。個人でそれだけの本を集めるのは大変！みんなで本を共有し、古くなっても、中央図書館に1冊は必ず保存する。図書館のしくみそのものが「エコ」ですが、それだけではありません。

図書館のリサイクル... 入ってくる本があれば、古くなって「去る本」あり。図書館で使われなくなった本は「図書館の不用図書リサイクル会」にて無償でおゆすりしています。南陽図書館の今年度のリサイクル会は6月に終了しましたが、港図書館など、秋以降に行うところがまだまだあります。

ヨンテール文庫... 市民の方々にお持ちいただいた、ご家庭で不用になった本を置く、常設のリサイクル本コーナーもあります。来館ついでにのぞいて見て、気に入った本があればぜひお持ち帰りください。

太陽光発電... 屋上にパネル90枚を備え、環境にやさしい太陽光発電に一役買っています。パネルは下から見えませんが、発電量は入口近くのモニターで見ることができますよ！

スタンプラリーやっています！... AELネットでは、施設への来館やイベント参加でたまる「スタンプラリー」を実施中です。参加賞や懸賞があり、期間は来年2月29日までと長いので、ぜひ挑戦してください！（Y. S）

<AELネットHP（エコリンクあいち）：http://aichi-eco.com/ael/>

新しく入った本の紹介

■ イースター島に行く ーモアイの謎と未踏の聖地

野村哲也／著 中央公論新社



南太平洋に浮かぶ孤島イースター島。イースター島といえばモアイ、モアイといえばイースター島、というくらい有名です。取材で15回島に足を運んだ著者が、島内のモアイ像を紹介し、島の魅力をカラーでお見せします。ピンクの砂浜と海が美しい！！モアイだけじゃない！

■ カタツムリの謎 野島智司／著 誠文堂新光社

まずは表紙の“コンクリートをかじって栄養補給！？”にビックリ！！カタツムリってなんなの。そのうえ、日本になんと800種。夜行性で、軟体動物。いまだに新種が見つかる！？と思えば、絶滅の危機！なんだかすごいぞ、カタツムリ。

■ ボードゲームって本当におもしろいの？ ～ボードゲーム クロスレビュー～ ふうか／著 スモール出版

ゲーム好きですか。テレビゲーム、オンラインゲームではなく、この本では、電源を必要としない“ボードゲーム”を紹介しています。ボードゲームに慣れない9名が実際に遊んだ感想と点数（10点満点）が載っています。紹介の写真をみるだけでもなかなか楽しい一冊です。（塩）

◆ご案内◆

「港区と伊勢湾台風パネル展」

9/2（水）～9/30（水）

場所：名古屋市南陽交流プラザ

☎052-303-2322

協力：南陽支所・南陽図書館



この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

南陽図書館からのお知らせ

今年、南陽図書館では初めて、こども昆虫教室を開きました。戸田川緑地管理センターの今井さんが、昆虫たちのおもしろい話を聞かせてくれました。

日時：8月27日（木） 午後1時半～3時

対象：おもに小学校3～6年生、19名（大人も5名 付添見学）



秋には読書週間にちなみ、絵本に親しむ連続講座を開催いたします。こちらも初めての企画で、おばあさん・おじいさんのための孫育て講座です。お孫さんのいる方は、ぜひご応募ください。



＜秋の連続講座＞「元気に孫育て講座」

日時：①10月15日（木）②10月29日（木）

10：30～11：30

内容：①絵本とわらべうたで遊びましょう（山口陽子 先生）

②昔の子育て・今の子育て ～孫疲れしないコツ～

（山岸由美子 保健師）

場所：南陽図書館2階 集会室

対象：お孫さんがいて、2回とも出席できる方

（①）



「南陽昆虫王国の繁栄について」

みなさんは戸田川緑地の中にある農業科学館に、世界の昆虫の標本室があることをご存知ですか？

今年の4月に初めてこの標本室に足を踏み入れた時、私は標本箱の中に整然と並べられた美しく可憐な姿の蝶たちや猛々しい姿の甲虫たち、さらには「何ゆえこの姿に？」と考えさせられる不思議な格好の昆虫たちに出会い、大きな衝撃を受けました。

その後戸田川緑地管理センターの方に図書館主催の「こども昆虫教室」の講師を引き受けていただき、標本箱も数点お借りできることになりました。「標本と一緒に生きた昆虫を展示したら楽しいではないか」。そう思いついた私は7月末から5度にわたって夜の山に入り、カブトムシ、クワガタムシ、カミキリムシなどを採集しました。捕まえた昆虫は虫かごに入れ、お借りした標本を含めた展示を「南陽図書館昆虫館」と名付けました。展示を始めると、大勢の子供たちが「南陽図書館昆虫館」の前で足を止めてくれるようになりました。

一方、昆虫教室も定員を超える申込があり、当日は講師の方が多くの標本や写真などを用意してくださったので、昆虫好きの子どもたちは大興奮でした。最後に参加者に鈴虫をプレゼントして昆虫教室は盛況のうちに幕を閉じました。

と書くと何もかもが上手くいっていたように思うかもしれませんが、人知れぬ苦労もありました。昆虫教室の当日まで私は50匹以上の鈴虫と共同生活を送っていましたが、彼らは深夜早朝の区別なく恋の歌を奏でるロマンチストたちでした。夏の終わりに感じる疲労感を、今年に限って私は「鈴虫疲れ」と呼ぶことにしました。（堀尾）

農業科学館 戸田川緑地管理センター

名古屋市港区春田野 2-3204 Tel (052) 302-5321

ホームページ <http://bunkaen-todagawa.jp>



この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。